



学園報



皇 學 館

第24号

発行・編集：学校法人皇學館（総務課）
TEL0596・22・6308
伊勢学舎〔法人本部・大学院・専攻科・文学部・教育学部〕
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704番地
TEL0596・22・0201代 FAX0596・27・1704
名張学舎〔大学院・社会福祉学部〕
〒518-0498 三重県名張市春日丘 7 番町 1 番地
TEL0595・61・3351代 FAX0595・61・3350
高等学校・中学校 三重県伊勢市楠町138
【高校】〒516-8577 TEL0596・22・0205代
【中学】〒516-8588 TEL0596・23・1398代

●今号の注目記事

1 面
新春座談会
伝統の上に立った進歩を

2 面
現代日本社会学部
担当教員に聞くⅡ

3 面
本学出身・大倉三佳さんが
女子プロ野球選手に

4・5 面 学生責任編集ページ
学生記者が外宮周辺を歩く

6 面 高校・中学
武道・バドミントン大会 など

8 面
サッカー水本裕貴選手らが来学
（京都サンガ）

●連載

2 面
皇學館人物列伝⑤
山田孝雄

3 面
リレーエッセイ 私の学生時代
池田久代（社会福祉学部社会福祉学科教授）

8 面
皇學館ミュージアム
応徳元年の土地証文

【出席者】

伴 五十嗣郎 学長

田中 天美さん ●文学研究科博士前期課程神道学専攻 2 年

森 琴 美さん ●教育学科 4 年

山 原 彩さん ●コミュニケーション学科 3 年



再興当時の倉陵祭や寮の様子など学長の話に耳を傾ける 3 人。（左から山原さん、森さん、田中さん）

新春座談会

伝統の上に立った進歩を

大学を取り巻く状況が困難でめまぐるしい変化を見せる中、本学は平成二十四年に創立一三〇周年、再興五十周年を迎えようとしている。この佳節を前にあらためて初心を再確認すべく、学長と学生が懇談し、皇學館大学の魅力やその使命、求められる役割について双方の立場から意見を交換した。

一三〇年の伝統を受け継ぐ

●創立一三〇周年・再興五十周年の佳節に当たる平成二十四年を目前にして、あらためて皇學館大学の存在意義や特色について考えたいと思います。まず学長からお願いいたします。



学長 ●皇學館大学は明治十五年、久邇宮朝彦親王の令達によつて江戸時代から続く神宮の学問所・林崎文庫に創設された神宮皇學館を発祥としています。その教育精神が簡潔明瞭に示されたのが、

文学ヲ修メとあります。ここていう皇国の道義とは、皇室を中心とした我が国の国風・国柄、文学とは小説や詩歌などの文芸ではなく、日本の学問という意味です。従つて、わが国の歴史伝統に根ざした学問を深め実践していくこそ本学根本の教育目標であり、特色だと思ひます。

●学生みなさんは実際に学んでみて、本学の特徴をどのように考えていますか。

田中 ●わたしは実家が神社ということもあり、神道を学ぶためにこちらに



入学いたしました。勉強するにつれ感じるのには、神道とは神祭りそのものであるということ。その点において、日本の総氏神である神宮のお膝元で学べるのは非常に恵まれた環境だと思ひます。

森 ●伝統が息づいていることをひしひしと感じます。わたしは寮に入っていたのですが、先ほど学長が触れられた令旨は朝拝・夕拝の時に欠かさず

るなど、どの施設も伝統教育の場として活用しようという意図をもつて建てられたと思うんです。それらをもっとアピールすることが学生も自覚する、一般の方の利用も広がると思ひます。



山原 ●市民の方々の距離が近いことも特徴だと思ひます。倉陵祭には一般の方も大勢来てくださいます。お木曳や初穂曳などの祭りに参加すると、気さくに声をかけてくださったりして、温かく見守られていることを実感しますね。

読み上げられますし、神祭りの本旨を重視した倉陵祭なども再興以来続いている行事ですね。

伝統を継承しながら進歩を見出す

●より魅力ある大学であるために、今すべきことは何だと思ひますか。

学長 ●地域における「知の拠点」としての役割に加え、大学自体においては伝統の上に立った進歩が必要でしょうね。本学では今年の四月から新たに「現代日本社会学部」が始動します。既存の学部はまず過去の日本に着目してきましたが、新学部は日本の現代を見つめることから問題点、課題をとらえ未来へつなげていきます。そういう点で従来のない学部を立ち上げようというわけですから、非常に期待を持っておるところです。



田中 ●周年事業の一環で祭式教室や記念館をはじめさまざまな施設が建設されています。記念館には由緒深い茶室が置かれ

旅で見聞を広げよ

●最後に学長から学生に伝えたいこと、学生時代にやっておくべきことなど教えてください。

学長 ●わたしの学生時代を思い出すと、いちばん楽しかったのは学生らしい「旅」。先輩のおられる神社を訪ねては泊めていただいたり…。再興間もない時でしたからどの先

輩も非常に喜んでくれた。ずいぶん可愛がついていただいた記憶があります。若い時分に、贅沢に走らず学生らしい旅をしてまわることが見聞を広げるいい機会。得がたい経験を積むことになると思うので、ぜひ学生のうちに方々へ行ってみてください。

聞き手 玉田功（総務課）

倉田山 春秋

学長年頭講話は、幕末の福井藩主 松平春嶽（永）が清貧に身を置く橘曙覧を訪ね、その心の雅を知り、生涯深く彼を敬したというものであった。大切な教訓が含まれる。曙覧は志濃（しのぶ）夫（よ）と号する万葉調の歌人としても知られ、正岡子規が「曙覧の歌の中で高く評価した。」「いつのたぐみをつなぐ誠だにさぐれば歌はやすからむもの曙覧」。▼司馬遼太郎「坂の上の雲」は、秋山好古、真之兄弟と子規の周辺を描き、明治の青春に象徴される廉潔が、私たちの胸を打つ。脊椎力（せきすいりき）に冒された子規は、病床六尺から世界に夢を馳せた。子規の精神もまた、文武両道に通ずる。▼佐藤春夫『玉簪花（ぎょくせんか）』に、花の栽培に「世を過ごした老翁の話がある。大宋の仁宗の時代、江南懸の首都平江の郊外長樂村。翁の姓は秋、名は先という。妻に先立たれ、子供は居ない。村の人びとは彼を秋公と呼び尊んだ。しかし、彼は自らを「灌園叟（かんえんそう）」（庭に水をやる翁）と称した。▼一心に自己を託すもの。一年の計ならず、生涯の志を定めるのも、新年にはふさわしい。〈夢〉や〈志〉は、誰にも身替りしてもらわなければならないのである。

シリーズ

現代日本社会学部 担当教員に聞く Ⅱ

福祉計画・社会福祉 山路克文教授



福祉計画・社会福祉
分野では何を学ぶのですか？

まずは現代社会の諸問題や社会福祉の意義と機能について理解を深め、ソーシャルワークの理論と実践を立体的に学んでいきます。そして、現場を体験する場として二・三年次には産業社会実習やソーシャルワーク実習なども行います。四年間で体系的な理論と実践を学び、体得したことを新たな社会資源の開発やサービスへの向上に応用できる力を身につけていきます。

授業のカリキュラムは、国家資格である「社会福祉士」の受験資格のための科目とともに、皇學館ならではの「日本の伝統」にも重点を置いています。資格をとるためだけの授業ではなく、欧米型の福祉の考え方を参考にしつつ日本の昔ながらの考え方を生かしていきたいのです。例えば「もったいない」という発想、限られた資源を大切に、かつ有効活用しようとする

るように、現代の日本社会を見直し、いま必要とされている福祉を創造していく力をつけていきます。

「二つのコースに分かれているのですか。」

はい。福祉計画コースでは、現代日本に必要な福祉政策課題を明らかにし、政策立案や提言する力を身につけてもらいます。そのために社会福祉調査や提案・ヒアリングをする力も養います。

社会福祉コースは、実践家をめざす人のために用意されたコース。将来指導者となるような人材育成を目指しています。

「どのような学生生活を送ってほしいですか？」

学内だけでなく、学外でもボランティアなど積極的に活動し、社会や地域から信頼される人間関係をたくさん作ってほしいと願っています。

その土壌の一つとして、平成二十年度より伊勢市と皇學館大学は提携を結んでおり、私も伊勢市地域福祉計画策定委員会の委員をしており、

今後、市民とともにできた計画を実践していく中で、学生たち(有志)にもどんどん関わってもらつつもりです。

卒業後の進路は？

伝統・文化



伝統・文化分野では何を学ぶのですか？

「伝統」や「文化」というのは長年に渡り培われてきたものであり、現代社会の形成に密接に関わっている要素です。過去に蓄積されてきたこれら先人の智慧をどう未来に生かすか、を考えるのが本分野の役割。これを精神的なコンセプトとして、「日本文化論」など日本の本質を学ぶ座学に加え、茶道や合気道などの文化継承実習を通して「かた(形・型)」といわれる所作を身に付けます。

「文化継承実習とは全国でも類のない試みですね。」

その通りです。他の大学や高校でも「茶道の一日体験」といったことはよく行われています。しかし、本分野では二年生から四年生までの三年間で九十分×九十回という長期に渡り継続して行う本格的なもの。さらに合

また、社会福祉コースでは福祉関係事業所や医療機関などの現場が考えられます。

橋本雅之教授

茶道では植芝守央先生、茶道は浅沼博先生といった、どの実習においても一流の講師陣を迎えて指導する非常にレベルが高く、密度の濃い内容となっています。

「ほかに特徴的な取組みはありますか？」

日本語能力を磨く授業を取り入れます。というのも、日本の伝統文化を学び、優れた部分や素晴らしいさを実感したとしても、それをきちんと言葉で説明できなければ自己完結で終わってしまいがちです。他者に日本の魅力を伝える力を養うことで、初めて「実践力」になりうると思います。同時に、日本語を知ることには即ち文化を知ることには即ち文化を知ることにほかなりません。例えば、漢字や平仮名、片仮名などさまざまな文字を自在に使いこなすところひとつとっても、日本語の持つ柔軟性や生命力の強さをひしひしと感じます。

卒業後の進路は？

「文化」をベースに活躍できる環境、例えば、町おこしや観光に携わる公務員といった文化行政をサポートする人などが挙

平成二十二年四月に誕生する「現代日本社会学部」①政治・経済、②現代社会、③福祉計画・社会福祉、④伝統・文化の四つの分野について、それぞれの内容や特色を二回シリーズで担当教員に伺う。二回目となる今号は③と④について話していただく。

運動を習慣化するコツは「動機付け」

教育学科
小木曾一之研究室

伊勢市との共同研究で実証

本学教育学科身体運動学研究室(小木曾一之准教授)では、伊勢市から市民の健康を保持増進するための共同研究を委託され、生理学的あるいは生体力学的観点から、伊勢市内各地にウォーキングルートを作成するとともに(伊勢市ホームページに掲載)、その効果を測定してきた。その中で、昨年は、健康を維持増進するための基礎である「歩く」ことを一過性で終わらせず、習慣化するにはどうすればいいのかを検証。「熊野古道ウォーキング」を企画し、継続の鍵となる要素を検討した。



「ほとんどの人が習慣として身に付くまでに活動をやめてしまう。運動を継続するにはモチベーションが大事」と語る東さん。

ら月二回、市内各地でウォーキングを行い、その最終目標として熊野古道の馬越峠を十二月六日に歩くこととなった。また、ウォーキング活動を行っていた四月月間、参加者の日常生活の身体活動量についても歩数を中心に調査を行った。その結果、参加者全員の「今後も歩きたい」という意識が高まったとともに、一日あたりの歩数も実際に増加していた。



41歳から74歳まで、29名の伊勢市民が参加。熊野古道では行程約5キロの馬越峠を踏破した。

中心となって調査した身体運動学研究室の東翔子さん(教育学科四年)は、アンケート調査の中で「熊野古道を歩く」ことを参加理由に挙げた人が多かったことに着目し、「動機付けとなる魅力的な目標や場所を設定することが運動を続ける上で最も大事」と結論付けた。

皇學館 人物列伝 5

山田孝雄

やまだ よしお

日本語のありように基づく文法体系を樹立

国語学をめぐる旧制の皇學館の陣容はきら星のごとくであるが、その中でも燦然と輝く巨星が山田孝雄である。

山田孝雄は明治八年富山市に生まれた。学歴は富山県尋常中学校一年修了中退。以後、独学で尋常中学校・尋常師範学校国語科教員の免許を得、兵庫県の鳳鳴義塾(現在の篠山鳳鳴高校)へ赴く。ある日の文法の授業で助詞「は」について教えた。そのとき使っていた教科書には「はが主語を示すと書かれていた。それに対し、一人の生徒が「は」の主語以外



やまだ よしお ◆富山市生。独学で中学校教員となる。東北帝国大学教授を経て、昭和十五年(一九四〇年)から二十一年まで神宮皇學館大学長。わが国の三大文法家の一人。墓所のある富山市の市立図書館に「山田孝雄文庫」がある。明治八(一八七五)〜昭和三十(一九五八)年。

の用例を示した。そこで山田は沈思熟考し、生徒の正しいことを認めて

陳謝したという。このできごとが契機となり、日本文法の研究を自らの使命としていくことになる『日本文法論』。その後、国語調査委員会補助委員を経て東北帝国大学に法文学部が設置されるに際し、講師として国語学講座を担当。のち教授となった。この間、論文提出から二十七年を経て昭和四年に文学博士を授与される。また、古典保存の活動や仮名遣改定反対の立場から森鷗外との親交もあった。

昭和十五年、専門学校であった神宮皇學館が神宮皇學館大学に昇格するにあたり、本学の学長として着任した。山田の高弟・佐藤喜代治博士によれば、荷田東満の「創学校啓」にいう神道・法制・和歌・国史を対象とする研究を基として本学が構想さ

れたという『日本語学者列伝』。そして、学部祭に祭祀・政教・国史・古典の四専攻が設置された。学生には心身の鍛錬が国家に報いる責任であると説いた。

山田文法の特徴は大槻文彦以来、西洋語の文法説を基盤に日本語を解明しようとした態度を批判し、日本語のありように基づく文法体系を樹立しようとした点にある。そうしたことから先に紹介した「は」を係助詞に位置づけた。陳述とのかかわりで「は」の機能を解明しようとした結果であった。この係助詞という品詞名も山田の命名である。その学問の目標は皇學の実践にあった。山田が評価され続けているのは、それをめざす途上で開発した国語学的方法と得られた知見が優れたものであるからといえよう。

伊勢では山田奉行所跡付近に住んだが現在その場所は不明となっている。国文学科准教授 齋藤 平

本学出身の大倉三佳さんが 県内唯一の女子プロ野球選手に 今春開幕・女子プロ野球リーグ



小学校時代から女子プロ野球選手に
あこがれていた大倉さん。野球の面白さ
と「攻撃と守備とで内容がガラッと変わ
るところ」と話す。また努力した分だけ
力が伸び、個人の技術がチームプレーに
大きく影響するのも魅力だとか。

今春、関西地区で女子プロ野
球リーグが開幕する。その選手
として県内から唯一、本学女子
軟式野球部出身の大倉三佳さん
が「京都アストドリームス」へ
入団する。

野球ができる環境を求めて
大倉さんは小学三年から少年
団で野球を始めた。高校は全国
でも数少ない女子硬式野球部が
ある駒沢学園女子高(東京)へ進
み、在学中にジャパンの候補に
も選ばれたこともある。平成十
九年四月、腰を据えて野球に取
り組める環境を求め女子野球部
のあった本学に入学。大倉さん
の野球に対する情熱に感化され

たメンバーは多く、弱小チーム
が一転、同年に開催された東海
地区のリーグ戦で優勝する快挙
を成し遂げた。その後、全日本
大学女子野球選手権大会では
ベスト8に進出するなど、全
国でも強豪校の一つに数えられ
るまでになった。

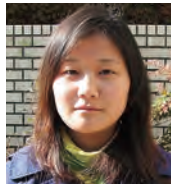
プロへの挑戦
昨秋、国内で女子リーグが設
立されることを知ると両親の強
い後押しもあってトライアウト
(選抜試験)に挑戦し、見事合格。
昨年十二月のドラフト会議では
外野手で指名を受けたが、速球
とスライダー二種のコンビネー
ションが持ち味の投手、捕手、
内野手、外野手とすべてのポジ

ションをこなす。
大学との両立は規約上できな
いため、本学は平成二十一年十
二月で中退。練習に協力して
くれたチームメイトも大倉さんの
合格を自分のことのように祝福
し、送り出してくれた。

女子が野球できる場を広げたい
幼い頃から「野球ができる環
境」を求め続けた大倉さん。女
子の硬式野球チームは数少な
く、中学時代は女子であること
を理由に一度は入団を断られる
など、環境探しに苦労した。「こ
れからは自分たちがプレーして
実績を上げることで、女子がプ
レーできる場を広げていきたく
い」と語る。



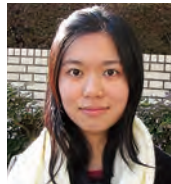
楊也さん
(国文学科)



杜媛々さん
(国文学科)



杜俊玲さん
(コミュニケーション学科)



可靖涵さん
(コミュニケーション学科)

●初めて日本に来たとき
の印象は？
靖●車の窓から見たとき
は平地が多いと思いま
した。学校の周辺は緑が多
くて空気がきれいだし、
住むにはとてもいい場所
だと思います。
媛●山もたくさんありま
すよね。とても美しい景
色だと思います。
也●高速道路を走ってい
て、動物注意の標識が立
っていることに驚きまし
た。タヌキやシカが出る
んですね。

●授業ではどんなことを
学んでいますか？
俊●「伝統の心と技の授
業で作法や手紙の書き方
などを学びました。最初
は難しく感じましたが、

「形」は単なる決まり事で
はなく、礼儀の心が根底
に流れているという話に
感動しました。
靖●異文化コミュニケー
ションを学んでいます。
ほかに文学、民俗、人間
関係論なども学んでいま
す。幅広くついでいく
のが大変です。
也●「源氏物語」や「万葉
集」などの古典を勉強し
ています。光源氏は遊び
人なのであまり好きでは
ありません(笑)。
媛●近代文学の授業で
「舞姫」を学びました。難
しいところも多いですけ
ど、小説なので読みやす
くて面白いです。
●日本人の印象はいかが
ですか？
靖●まじめで、親切です
ね。授業でわからないと
ころを聞くと、知りあい
じゃなくても丁寧に教え
てくれます。

俊●笑顔の人が多いの
で、こっちまで気分が明
るくなりますね。
也●バイト先の店長さん
が、わたしたちに時間を
延長して働いてほしい時
でもはつきりそう言わ
ず、「今日は予定ある
の？」と聞いてくるん
で。相手が考えているこ
とを会話から察しないと
いけない気がしますね。
●将来の進路は？
也●日本語教師をめざし
ています。日本語は同じ
漢字でもいろんな読み方
があったりして覚えるこ
とがいっぱいあります。
ここでしっかり勉強し
て、夢をつかみたいです。
媛●わたしも日本語教師
になりたいと考えていま
す。敬語や方言の勉強も
したいと思っています。
俊●日本語を生かす職業
に就きたいですね。テレ
ビ局のレポーターなど

留学生インタビュー 中国人留学生四名が来校

本学と学術交流協定を結ぶ中国・河南大学から四名の留学生が昨年の
九月に来日。学園生活も三月を過ぎ、授業や故郷を離れての暮らしに
も慣れてきた様子だ。今回は日本人の印象や勉学に対する思いを聞いた。

「形」は単なる決まり事で
はなく、礼儀の心が根底
に流れているという話に
感動しました。
靖●異文化コミュニケー
ションを学んでいます。
ほかに文学、民俗、人間
関係論なども学んでいま
す。幅広くついでいく
のが大変です。
也●「源氏物語」や「万葉
集」などの古典を勉強し
ています。光源氏は遊び
人なのであまり好きでは
ありません(笑)。
媛●近代文学の授業で
「舞姫」を学びました。難
しいところも多いですけ
ど、小説なので読みやす
くて面白いです。
●日本人の印象はいかが
ですか？
靖●まじめで、親切です
ね。授業でわからないと
ころを聞くと、知りあい
じゃなくても丁寧に教え
てくれます。



「感性を磨くことが大事」と語る岡野氏。

の残っていた考え方、
表現を繰り返して読んで自
分の中に取り込み、新し
い表現を広げていってほ
しいと伝えた。
万葉集を卒論で取り上
げるため聴講生として参
加した文学部国文学科四
年の宮路沙織さんは、「自
分のテーマにも重なる部
分があり参考になった。
『歌を詠む心は未来へ伝
えようとする』こと」とい

の授業で調べの美しさ、
特に推敲時に声を伴わせ
ることの重要性を説いた
ことから、作歌した学生
自らが作品を詠む形で授
業が進んだ。
岡野氏は学生たちに向
けて、手帳を常に持って
良いフレーズを書きとめ
て、手帳を常に持って
良いフレーズを書きとめ

る癖をつけること、また
良い歌集を見つけ暗唱で
きるほど読み込むことを
アドバイス。秀でた歌人

出町から寺町へ、狭い路地をぬ
けて学生寮の通用門をくぐると、
七年間過ごしたアルマ・マータの
構内に入る。堀一つ隔てて北に相
国寺、南には京都御所。古都の懐
に抱かれた赤レンガの建物と贅美
歌が響く小さな空間で、私は青春
時代を過ごした。
「英語をやりたい」という漠然と
はしつとも一途な思いに駆り立
てられて、日々英文学の薫陶を受け
ることになった。入学するとすぐ
に持たされた『Masters of English
Literature』という英文学アンソ
ロジーは重かった。学生寮では六畳
ほどの和室にママさん(三年生、
セミママさん(二年生)、そしてベ
ビーさん(新入生の私)が窓に向か
って机を並べ、布団を川の字に敷
いて寝・食・学をともにした。食
事や集会となるといつも賛美歌と
お祈り。これが悩みの種であった
が、今となつては懐かしい。あの
頃の空気は今も褪せずに残ってい
る。シャイな私を変えたのは、京
都の祇園界隈で夜な夜な開かれる
クラブ主催の「ダンスパーティー」な
るもの。(半ば強引にチケットを買
わされて)生真面目な女子大生
が世界に目を開き、水を得た魚の
ように、海外に飛び出していくの
に大して時間はかからなかった。
まずは北アメリカ大陸。まだ一

私の学生時代



池田久代
同志社女子大学大学院修了

社会福祉学部社会福祉学科教授

大学 —コペルニクスの転回—

ドルが三六〇円の時代で、海外留
学は珍しかった。ピッツバーグ大
学での夏期講座。黒々としたビル
が林立する工業の街だった。サン
フランシスコからグレイハウンド
バスに乗りこみ、シャイアン・ワ
イオミングからシカゴへ、インデ
イアナの田舎とピッツバーグでひ
と夏過ごし、帰りはニューヨーク、
ワシントンで一休み。セントルイ
スに出てフラグスタッフから西海
岸に戻る。「ルート66」をひた走る
豪快な旅だった。アポロ11号が帰
還した夏だった。大学最後の夏に
は英国へ。鄙びた中世の街のモル
バンカレッジでシェイクスピアの
講義を聴き、ストラッドフォード
でロイヤルシェイクスピアの芝居
を毎晩鑑賞した。ローレンス・オ
リビエがまだ舞台上に立っていた。
英文学に本格的に取り組んだの
は大学院からで、学部頃は、英
語ディベート、同時通訳(米国国務
省帰りのプロの通訳者の特訓)、英
国・ヨーロッパ、北アメリカ大陸
行脚と、生きた英語を学ぶことに
すべてのエネルギーを費やしたよ
うに思う。大学でも街角でも長距
離バスの中でも、見知らぬ人との
会話に興じた。人との出逢いと交
流こそが私の原動力だった。お陰
で、今も世界を歩き回る癖が治ら
ない。

●外宮

お伊勢さん観光ガイドの金児毅さんによると、正宮とは本来、平和や命への感謝など「公」の願いをきいていただく場とのこと。個人的な願いは豊受大御神の荒御魂を祭り、地元の人から「あらたかさん」の名前で親しまれている多賀宮へ。本来なら98段の急な石段を登りつめたところにあるが、そこまで行かずとも表参道に遙拝所が設けられている。



●月夜見宮

外宮北御門から北へまっすぐ、神路通りを300メートルほど進んだ先にある月夜見宮。祭神は天照大御神の弟神である月夜見命だ。伝説によると、命が杖をひとふりするや石垣の一つが白馬に変わり、その馬に乗って命は毎晩のように外宮へ通ったとか。それを見た人がいつしか「神の路」と呼ぶようになり、「神路通り」となったそうだ。この道では神様が真ん中を通るので、人々は遠慮して端を歩くという。



●蔵deパスタ

老舗の味噌醤油醸造元「糺屋」が蔵を改装して開いたパスタ店。伊勢醤油を使ったカステラ、特製の「肉味噌パスタ」など、この店ならではのオリジナルメニューが揃っている。



●いちし(御饌井)

昨年の秋に誕生した外宮前の新名物「御饌井」。宮川や五十鈴川の水、伊勢志摩地方の米や食材を使っていることが条件、各店とも趣向を凝らしたオリジナルの「御饌井」を提供している。今日いただいたのは、厚生小学校の近くにある「いちし」のもの。鶏肉の照焼がたんまりと載っていて、ご飯のすすむ一品。



●小西萬金丹

旧参宮街道沿いに店を構える「小西萬金丹」は300年以上の歴史を持つ老舗。万病に効く「伊勢の霊薬」として知られ、参宮客がこぞって土産にしたという。現在は「伊勢まちかど博物館」としても公開され、貴重な資料が展示されている。ちなみに、萬金丹は現在でも買うことができる。また、建物は伊勢地方の商家特有の切妻造りで出入口は妻側。神宮の御正殿が平入りのため同じ出入口では畏れ多いのがその理由とか。屋根は凸状に湾曲した「むくり屋根」で、道路を挟んだ対面に「そり屋根」の建物がある。





●大神宮前駅

大正から昭和初期にかけて、伊勢一名古屋間に路線を持っていた伊勢電気鉄道。神宮への直線路線を建設し、当時としては最先端の特急電車を走らせるなど隆盛を極めたが、過剰投資がたたり経営に行き詰まる。「大神宮前駅」は昭和5年に伊勢電が設けた終着駅で、現在は駅名標をかたどったモニュメントが設置されている。



●山田館

伊勢市駅と外宮を結ぶ外宮参道、通称コミュニティ道路沿いに建つ老舗旅館「山田館」。木造3階建てで、往時の風情を留めている貴重な建物。外国人にも人気だ。



●ボンヴィヴァン

旧山田郵便局電話分室の建物という、大正ロマンあふれる雰囲気です。正統派フレンチがいただける「ボンヴィヴァン」。ティールームがあるので、わたしたち学生でも気軽に入れる。スタッフのひとりには本学神道学科卒業生の甲斐大史さん。「学生にしかない若いパワーで、もっと積極的に町づくりに参加してほしい」と語っていた。



クローズアップゼミ

研究室探訪5



教育学科准教授
田口鉄久ゼミ

私は保育者として幼稚園で4・5歳児の担任を20年間務めた後、11年あまり園長として園運営にあたってきました。したがって研究領域は保育指導、保育内容に関する実践的研究です。そんな経緯もあって、ゼミに所属する学生には関心を持った事柄について、子ども・保護者・保育者の姿を通して研究することを薦めています。それは目の前の子どもの生活や遊び、保護者の子育ての楽しみや苦勞、先生方の熱心な保育指導に幼児教育・保育の真実があると考えからです。

ある学生は砂場遊びの様子を継続観察して記録をとり、子どもの育ちを考察しました。別の学生は妊娠中の母親が胎児へ想いを寄せることによって後の親子関係にどのような影響を及ぼすか、聞き取り調査を行いました。絵本の読み聞かせを実践する中で、読み聞かせが子どもの心を育て、読み手との関係を深めることを確かめた学生もいます。現実の姿を丁寧に見つめながら事実を明らかにすることが大切だと考えます。

今、幼児教育・保育には大きな期待が寄せられています。保育の現場は着実な学びを積みあげた専門家を求めています。学生の皆さんには講義・演習・実習といった専門の学びの上に、ゼミにおける研究活動を通して、課題を解決する力を身につけてほしいと願っています。

社会に出れば様々な困難な事態に直面します。苦勞して研究に取り組む経験はそれらの課題を解きほぐし、新たな解決策を見出す方法を提供してくれるでしょう。

現場主義のゼミで課題解決力を培う

学生責任編集ページ

学生記者募集!.....興味のある人は総務課まで!

K O D A I S M

外宮かいわい “山田”のまちを ぶらり散策

町並みの移り変わりに 戦争の影

外宮の門前町として古くから栄えてきた山田の町。戦前、宮川から外宮を結ぶ旧参宮街道には庶民の営む商店が軒を連ね、それは賑やかな町だったという。外宮の御祭神である豊受大御神とようけのおおみかみは内宮の鎮座より約500年後、天照大御神あまてらすおおみかみの大御饌を司る神として丹波の国から伊勢に迎えられた神様だ。食物・穀物を司ることから、衣食住——つまり、〈暮らし〉の守り神として崇められた外宮。そのお膝元ならではの町並みが山田の特徴だったのである。しかし、やがて戦争の影が。外宮への延焼を防ぐため商店街はすべて取り壊され、旅館の建ち並ぶ外宮参道（今のコミュニティ道路）の半分が戦火によって焼き払われてしまった。

山田を襲った クルマ社会の到来

戦争によって町並みが一変したとはいえ、さすがは暮らしの町、庶民



外宮参道でお木曳の練習がされた時の様子。暮らしに根付いた町らしく、現代的な建物と伝統的な風習が調和している。

の町だ。「新道」と名称も新たに商店街が復活。外宮と内宮をつないだ路面電車・神都線も戦火をくぐり抜け、正月などの繁忙期は乗客がすし詰めになるほどだったという。しかし、今度はクルマ社会の到来という近代化の波にのみ込まれてしまう。

〈聖地〉を意識した町づくり

「外宮と内宮の間に高速道路のインターチェンジができてから参拝者が減りましたね」と話すのは、外宮参道沿いに店を構え、外宮参道懇話会の代表を務める山本武士さんだ。

ご存知の方も多いと思うが、〈両宮参り〉といって、外宮→内宮の順で参拝するのが正式だ。さらに、「内宮のおはらい町を訪れる観光客の中には神宮を参拝せずに帰ってしまう人もいますよ」と参宮がメインではなく、なっている現状を嘆く。そして、〈観光地〉としてはもとより〈聖地〉としての意識した町づくりがここ山田には必要との展望を語った。そのためにはまず外宮のことを知ってもらいたいと店の一角にインフォメーションコーナーを設置し、食の大切さを発信したいと「御饌丼」なる丼のプ



「精神的な満足が得られる町にしたい」と語る山本さん。

ロデュースにも尽力した。まだ始まったばかりだが賛同する声は多く、山田の未来を探る動きは徐々に広がりをみせている。

皇大生を現代版御師に

「今こそ若い学生さんの力が必要ですね。皇大生が現代版御師おんしとして活躍してくれば」との期待も山本さんは口にした。たしかに、山田のまちを一大観光地にしたいという話なら、わたしたちには少しばかり荷が重いかもしれない。でも、神聖な場所、聖域であることを伝え広めてほしいという想いには応えられる、いや、応えるべきなのではないだろうか。わたしたちに何ができるか、考えていきたいと思う。



昭和35年正月 本町(外宮前)付近。
(中野本一氏撮影)



現在の旧参宮街道。今の風景からは想像できないが、戦前は
この道沿いに商店がずらりと並んでいた。



荒祭宮遥拝のために整列。

十二月十七日、数年ぶりの厳しい寒さの中で恒例の月次祭が実施された。凜とした空

た。例年、参拝客から「どちらの学校ですか？」「今頃、こんなきちんとした学生さん

を終えた後、一年生は総合学習の一環として林崎文庫（笠井先生）・荒祭宮（相原先生）・

凜とした寒気の中、神宮参拝を実施

月次祭



お見事、一本！



激しい打ち込みを見せる剣道の試合。

気が逆に身体のみならず精神までも引き締めたのか、心地よい緊張の中で競技は始まった。一年生男子にとっては技

熱戦を繰り広げたバドミントンの試合。

寒気をはねのけ

武道・バドミントン大会

十二月十八日に武道・バドミントン大会が行われた。

数日来の冷え込んだ天候の中での実施となったが、その寒

熱戦を繰り広げたバドミントンの試合。

熱戦を繰り広げたバドミントンの試合。

表彰状を前にする平賀君。



一年平賀敬太君が最優秀賞受賞

毎日新聞社主催 読書感想文コンテスト

昨年十一月三日の文化の日を中心に、各所で行われた文化面でのコンテストで皇學館生が目覚ましい活躍を見せた。

秀賞に輝いたことだ。講評欄では「本来、読書感想文は、まず自分の内面を見つめるこ

も嬉しい」と喜びを語る平賀君。さらに、「この本には、日頃から疑問に思っていたことへの情報がたくさんあり、更

皇 中 NEWS



上／3年A組 ホテルのビーチにて。
下／3年B組 美ら海水族館にて。

初日は平和祈念資料館を見学。二日目は首里城見学、むら咲きむらでの体験学習、美ら海水族館で観覧し、最終日

族館ではジンベイザメやマンタの大きさに圧倒され、ホテルでは豪華ビュッフェスタイルの夕食を食べ、沖縄を満喫した。中でも二日目のビーチ散策ではそれまでの雨が上が

三年生が沖縄へ修学旅行

十一月二十三日から三日間、三年生が沖縄に修学旅行を行った。雷雨の激しい悪天

候のときもあったが、野外の体験学習などでは青空が見られ予定通りの活動ができた。

この三日間で、直に沖縄についての歴史を学び、修学旅行ならではの皆さんの思い

族館ではジンベイザメやマンタの大きさに圧倒され、ホテルでは豪華ビュッフェスタイルの夕食を食べ、沖縄を満喫した。中でも二日目のビーチ散策ではそれまでの雨が上が

年々札を取るスピードも速くなり、日々の学習の成果が発揮されていた。札を取られると喜んだり悔しがったりと選手も盛り上がり、どのクラスが取ったのかカードが各組から上がる。観客席からも大きな声援が送られた。観客生徒も静まる場面と応援をする場面とのメリハリをつけ、より質の高い大会となった。

十二月八日に校内スポーツ大会が実施された。二学期の競技はバドミントン。男女それぞれ二リーグに分かれ、一チーム三組で競い、総合得点で勝敗を決した。



勝利の笑顔。

き、男女学年を問わず応援する場面が多く見られ、生徒全員で試合を盛り上げていた。

皇 高 NEWS

クラス別対抗 第十回 百人一首大会を開催

毎年恒例の百人一首大会が一月十三日に行われた。セミナーホールで行われるようになつて三年目。補助員として

最後に、各クラスでの代表生徒による個人戦が行われた。昨年より枚数も増え五十首から三十首を競つたため、

総合優勝は三年B組、準優勝は三年A組。組別優勝は小町二年B組、業平三年B組、



クラス代表個人戦

練習の成果やチームワークを発揮

二学期スポーツ大会

皇學館大学創立130周年・再興50周年記念
ロゴマークデザイン募集

使用目的 創立130周年・再興50周年を迎えるにあたり、学園の知名度向上を目的に本学園をイメージしたロゴマークを制定することになりました。ホームページ、各種出版物、封筒、グッズなど広範囲に使用し大々的に広報します。ふるってご応募ください。



公募内容 皇學館の周年をイメージしたロゴマーク

募集期間 平成22年1月15日(金)～3月5日(金)【当日消印有効】

応募資格 本学園教職員、学生・生徒、その保護者および館友。

選考方法・発表 記念事業委員会が審査し、入賞作品の応募者に連絡するとともに公式ホームページ上に氏名を発表します。

表彰 最優秀作品、優秀作品に賞状と副賞を授与します。
副賞●最優秀作品……1点 10万円
●優秀作品……1点 5万円

作成要領

- 応募作品は、未発表であるオリジナル作品に限ります。
- 色彩、図案は自由ですが、モノクロ使用する場合もあります。
- 公序良俗その他法令の定め反するもの、著作権、第三者の権利を侵害しているものは対象外とします。後日、これらの条件に違反していることが判明した場合は、無効とします。
- 採用にあたり、若干の修正をさせていただく場合があります。
- 採用した作品の一切の権利は、学校法人皇學館に帰属します。権利の譲渡対価は、賞金を以って充てることとします。
- 応募作品にかかる費用は応募者の負担とし、作品は返却しません。
- 未成年の方の作品が採用された場合は、親権者の同意書が必要となります。
- 応募の際に提出された個人情報適切に管理し、応募作品の審査・受賞者発表以外の目的で使用することはありません。

応募方法

- 応募作品は、お一人あたり2点までとします。
- 所定の応募用紙を、郵送または直接持参してください。Eメール(suishin@kogakkan-u.ac.jp)で応募される場合には9MB以内にてください。
- 公募要領・応募用紙等は皇學館大学公式ホームページトップページ「大学からのお知らせ」あるいは「周年記念事業」をクリックして、「皇學館創立130周年・再興50周年ロゴマーク案の募集について」からダウンロードしてご使用下さい。

お問い合わせ 皇學館大学記念事業推進室
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704番地
TEL 0596-22-6313 FAX 0596-27-1704
Eメール suishin@kogakkan-u.ac.jp

文学部神道学科
佐藤 信一様
三万円

夢の会 保護者の会
三万円

館友
三万円

香川県
一 村 公典様
三万円

鈴木 和幸様
三万円

石川 正雅様
三万円

岡田 愛弘様
三万円

岡部 政治様
三万円

小野 雄一様
三万円

郡山 宗典様
三万円

小瀬 潤様
三万円

佐藤 博様
三万円

塩谷 尚志様
三万円

田村 勝利様
三万円

茂樹様
三万円

藤林 茂樹様
三万円

大成建設(株)名古屋支店
及〇協力業者一同様
三百万円

大成建設(株)名古屋支店
きんてん(株)中部支社様
伊勢生コンクリート
(株)敷谷工務店様
伊勢生コンクリート
協同組合様
石川商工(株)様
伊勢コンクリート(株)様
(有)大久様
(株)南島コンクリート様
松阪興産(株)様
大森鉄筋工業(有)様
(株)齊藤様
勢和建設(株)様

皇學館高等学校創立50周年・
皇學館中学校創立35周年記念事業寄付金
進捗状況

区 分	申込件数	申込金額(円)	納入金額(円)
宗 教 界	2	150,000	150,000
企 業	40	4,090,000	3,940,000
一 般 (旧教職員・篤志家等)	15	415,000	415,000
同窓会会員	122	6,498,000	6,498,000
後援会賛助会員	54	880,000	880,000
本法人関係	123	3,645,000	3,560,000
合 計	356	15,678,000	15,443,000

同窓会会員
東京部
芝 庸介様
一万円

三重県
皇學館高等学校同窓会様
小見山健司様
中井 恵一様
一万円

津島建材様
東建商事様
日東物産(株)様
(株)マツナガ様
(株)横井業務店様
竹甚板硝子(株)様
(株)西條様
(株)永製作所様
日本オーチス・エレベーター(株)様
菱田建材(株)様
(有)ピーアイシー様
藤吉工業(株)様
上原成商事(株)様

創立130周年・再興50周年記念事業寄付金
進捗状況

区 分	申込件数	申込金額(円)	納入金額(円)
宗 教 界	634	776,147,000	746,767,000
館 友	716	78,544,000	75,119,000
篤 志 家	44	31,805,000	31,685,000
夢 の 会	1,887	82,226,000	82,226,000
企 業	103	61,985,000	60,845,000
本法人関係	247	57,632,000	57,242,000
合 計	3,631	1,088,339,000	1,053,884,000

企 業

大成設備(株)東海支店様
第一工業(株)名古屋支店様
ダイワ空調設備(株)様
村木建材工業(株)様
大成ロテック(株)
三重営業所様

(株)アケノ様
(有)出馬重機様
蟹江工業(株)様
恭和工業(株)様
草川塗装(株)様
中央建設(株)様

文学部国文学科
稲垣 欣也様
岡橋 利正様
萱原千恵実様
松田 光世様
三万円

文学部国史学科
青柳 正孝様
黄木 悟様
草深 典男様
錦戸 正大様
幡鎌 繁様
三万円

文学部教育学科
越山 仁志様
小塚 康弘様
山下 茂様
三万円

文学部「ミニエーション」学科
北村 正彦様
三万円

社会福祉学部社会福祉学科
河戸 仁史様
斉田 敏光様
下里 康寿様
増田 幸則様
三万円

教育学部教育学科
山口浩次郎様
伊藤 美樹様
窪田美智男様
佐久間和人様
平田 昶久様
三万円

神道学専攻科
浦野 雄二様
池田 晴江様
三万円

企 業

三重県
四百十万円「十万円増額」
(株)伊藤工務店様
青木商店様
六万円「二万円増額」



白智立氏

北京大学政府管理学院 副教授

◆一九六六年生まれ。一九八四年内モンゴル大学日本語科に入学。一九八八年九月から皇學館大学文学部に聴講生として在籍する。翌年、内モンゴル大学を卒業し、文学士号を取得。その後、法政大学大学院にて政治学・行政学を専攻し、政治学博士号を取得する。現在、北京大学政府管理学院にて副教授・副院長を務める。著書に「日本の行政監察・監査」など。



OB・OG訪問

先輩、
お元気ですか

皇學館大学へ留学したのは今からちょうど二十年前のこと。大学では日本文学を学び、指導教授・半田美永先生のゼミで学部生・大学院生と深く交流することができました。神道学・教育学・倫理学などの講義も聴講し、大変充実していました。

半田先生のご指導で森鷗外の歴史小説をテーマに卒論を完成し、帰国しようとしたとき、天安門事件が発生しました。先生やゼミの同窓生たちが大変心配してくれて、心温かい送別会で私を慰めてくれました。今もそのときの写真を見るたびに、目が潤みます。皆さんとはその後も連絡を取り続けています。

その経験もあって、その後法政

大学大学院で政治学・行政学を専攻しました。帰国してからは行政学・比較行政論・公務員制度などを教えるようになり、さらに北京大学日本研究センターの副長を兼任し、日本の研究に携わってききました。政治学・行政学を専門にしているものの、研究や授業をする中で鷗外がいつも脳裏に浮かび、仕事や生活に大きく役立っています。

一昨年、北京で半田先生を含む皇學館大学の先生方と再会を果たすことができました。先生のご自宅でうなぎをいただいたこと、授業の原風景、同窓生との想い出が蘇りました。この経験を今後も学生に語り続け、留学の素晴らしさを伝えていきたいと思っています。

賀陽宮邦憲王百年祭を斎行

平成二十一年十二月九日、本学伊勢学舎記念館にて「賀陽宮邦憲王百年祭」が執り行われた。祭典には佐古一洸理事長を筆頭に教職員、学生など約五十名が参列した。

賀陽宮邦憲王(一八六七―一九〇九)は明治二十八年より神宮祭主をつとめ、翌二十九年から皇學館総裁に就任。神宮の運営、また皇學館の発展や教育のために尽力された。しかし明治四十二年十二月に数え四十三歳で薨去。平成二十一年はそれからちょうど百年にあたる。



賀陽宮邦憲王より明治三十三年に賜った令旨は、現在でも入学式や卒業式で学長により朗読されている。「皇国ノ道義ヲ講ジ 皇国ノ文学を修メ」――すなわち、わが国の歴史と伝統に根ざした道義と学問を学び、日本人としての正しい自覚を確立して実社会での運用に努め、文明の発展に貢献する――この根本精神は、創立以来おおよそ一三〇年の時を経てなお色褪せず、皇學館の学風として脈々と受け継がれている。

2月 2カ月イベント情報

11	税	『伝統の心と技』特別講座 能楽への招待 ◆ 能楽師 観世喜正 氏	記念館(伊勢学舎)
13	土	創作人形劇 ももいろ王国物語 ◆ 社会福祉学科 こども福祉学コース	名張学舎
14	目	志摩のあけぼの展 志摩市立磯部図書館・郷土資料館 考古学からみた志摩 ◆ 岡田登 史料編纂所長	
18	木	名張の地域文化を語る会 まちなか研究室事務室(名張学舎) 日本と中国の年中行事 ◆ 野村茂夫 本学名誉教授	
24	水	ちよっとちよっと講義 まちなか研究室事務室(名張学舎) 高齢者虐待の現状と対策 ◆ 関根薫 社会福祉学科准教授	

3月

6±~7月
教育学科卒業記念ミュージカル 記念講堂(伊勢学舎)
 青い鳥〜ぼくらの見つけた幸せ〜
 ◆教育学科 4年生有志

7月
みえアカデミックセミナー2009移動講座 紀北町立東長島公民館
 紀伊長島の伝承と民話
 ◆橋本雅之 社会福祉学科教授

イベントの時間・申込方法等のお問合せは各学舎まで
伊勢学舎 ☎0596-22-0201(代) 名張学舎 ☎0595-61-3351(代)

編集後記

◆本学でも撮影
トラとして協力
市では進富座さ
クオオフィエン
プランの一環と
勢学舎記念講堂
者である橋本紡
柴洋監督、主演
さんらのシンボ
を「伊勢市を知
てくるものがあ
◆映画の公開に
した小説の改訂
本学の学生が監
んもぜひこの機
に触れてみてく

[illegible]

社会福祉学部・地域福祉文化研究所シンポジウム

必要な動き
子どもから

京都サンガ

水本選手、山田

千葉ロッテ

山田

京都サ

水本

千葉ロ

左から叶教授、水本選手、山中コーチ、脇田氏。パネル討論では脇田氏が展開した「脱力を意識した動き」について、サッカーや野球に応用できるかなどのやりとりがあった。

子どもの頃、毎年スキーをしていたとスライドをまじえ語る水本選手。

多様なスポーツに触れることが大切

シンポジウムは二部構成で開かれ、第一部では運動生理学が専門の三重大学教育学部教授・脇田裕久氏が「子どもの体力変化と脱力を意識した動きの開発」と題し講演。素早く動く能力を高める

方法について、従来の筋力トレーニングではなく、むしろ力を抜き重力を利用することが効果的であるとして古武術などを例に解説した。

第二部のパネルディス
カッションではまず叶俊
文教授が壇上に立ち、子

市民ら百二十人が来場

一月七日、名張学舎にて地域福祉文化研究所シンポジウムが開催され、京都サンガF.C.の水本裕貴選手(サッカー)や千葉ロッテマリーンズの山中潔一軍バッテリーコーチ(野球)らが来学。市民ら百二十名の聴衆を前に、テーマである「現代の子どもにも必要な動きを考える―子どもからの変化から―」について、それぞれの経験談を語った。

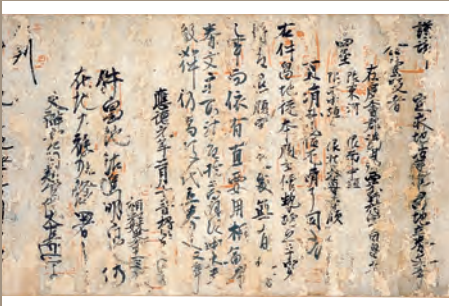
今回のシンポジウムは
社会福祉学部の叶俊文教
授らが中心となって行っ

聴衆にはスポーツに関わっている人が多く、質問が相次いだ。

皇學館
ミュージアム

応徳元年の土地証文

おうとくがんねんのとちしょうもん



縦29.3センチ×横48.2センチ

本學所藏古文書中最古の一品
應徳元年（一〇八四）、現在の伊勢
市周辺に住んでいたと思われる掃
守某という人物が、勢増という僧
侶から買得した度会郡湯田郷栗野
村の畠一段を、高羽江中大夫とい
う人物に、絹二十疋で売却した土
地証文である。よく知られている
とおり、古代のわが国は公地公民
を建前としていたため、土地の売
買にはすべて役所の許可が必要で
あった。そこで本文書の場合、売

千年前の土地売買の様子を知る

主の掃守某は、伊勢神宮の判官である大中臣近字に「辞」という文書を用いて土地売買の許可を申請しており、これを受けた近字は、その「辞」に署名して度会郡に申請し、度会郡の郡司たちはその「辞」に承認のサインを加え、度会郡の郡印を紙面全体に捺してその契約を認めている。千年前の伊勢における不動産売買の実態を知ることのできるきわめて貴重な史料と言えよつ。 神道博物館長 岡野友彦

翻刻 謹辭 定永地沽渡進畝地立券文事
合臺段者
在度會郡湯田鄉栗野村字田畝
四至 限北界地 限西北界地
直祇貳拾足請了、同充押
右件畝地、從本領主僧勢增之手、
買得進退領掌、限西北界地無所、限北界地處處、限西北界地有□□
之事、而依有直要用、無副本
券文、永所沽渡於高羽江中大夫
殿如件、仍爲後代立券文、以辭
應德元年二月十三日 掃守
「件畝地相知妹夫白中臣」、仍
在地刀爾加證署之、
大神宮司判官代大臣近字
「判」

平成22年度 学部・大学院・専攻科入試日程

試 験 種 別		学 部	出願期間(締切日必着)	試 験 日	合格発表	会 場
一 般 後 期	マーク2科目	文・教育・現代日本社会	2月12日(金)～23日(火)	2月27日(土)	3月4日(木)	伊勢 名張 名古屋 大阪
センター試験利用B	3科目	教育・現代日本社会	2月12日(金)～23日(火)	個別学力検査等 は行いません	3月4日(木)	
	2科目	文				
センター試験利用C	3科目	教育・現代日本社会	3月4日(木)～12日(金)		3月18日(木)	
	2科目	文				
館 友 推 薦 (後期)		文・教育・現代日本社会	3月4日(木)～12日(金)	3月15日(月)	3月18日(木)	伊勢

試 験 種 別			出願期間(締切日必着)	試 験 日	合格発表	会 場
大学院 文学研究科	博士前期・修士 (神・文・史・教)	2次	2月12日(金)～25日(木)	3月4日(木)	3月5日(金)	伊勢
	博士後期 (神・文・史)					
大学院 社会福祉学研究科	修 士	2次	2月12日(金)～25日(木)	3月4日(木)	3月5日(金)	名張

試 験 種 別		出願期間(締切日必着)	試 験 日	合格発表	会 場
神 道 学 専 攻 科	2 次	1月25日(月)～2月8日(月)	2月15日(月)	2月16日(火)	伊勢

入試に関する詳細は、ホームページまたは募集要項をご覧ください。

皇學館大学 入学試験課

〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704
☎0596-22-6316 [E-mail] nvusi@kogakkan-u.ac.jp

<http://www.kogakkan-u.ac.jp>